

広め隊メンバー



鮎川めぐみ

作詞家。中森明菜、高橋真梨子、夏川りみ等、数多くのアーティストに作品を提供。1997年に千住明（せんじゅあきら）氏と共に担当したアニメ映画「どんぐりの家」の主題歌「心と心で」は、中学校音楽の教科書にも採用される。2013年に京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」、2016年には同子ども向けサブソング「えがおのおくりもの」の作詞に携わり、この「世界がひとつの家族のように」も、一昨年に中学校音楽の教科書に採用された。現在はアーティストへの作詞の他、手話も含めた詩の朗読などによる、命の大切さをつなぐ活動を続けている。

☆広め隊アーティスト



■ アルゴノート

京都市立芸術大学出身のヴァイオリンとヴィオラのデュオ。持ち前の技術と音楽性で、クラシックからポップスまで、幅広いレパートリーを演奏。関西を中心に多数のイベントや小学校、演奏会などで活躍中。

ゲストを迎えて弦楽三重奏やカルテット、ピアノとのアンサンブルなど様々な編成での演奏や、リクエスト曲があれば、ヴァイオリンとヴィオラのデュオヴァージョンにて演奏いただくことが可能



■ フラリーパッド

京都発ウクレレとギターによるアコースティックデュオ。ポップで爽やかなサウンドが魅力。

テレビやラジオの番組にも、オリジナル楽曲が多数起用されている。

代表曲に「サマー・シュプール」「京都タワーにのぼって」など。

広め隊では、平成28年秋に誕生した子ども向け京都府人権啓発サブソング「えがおのおくりもの」の歌い手としても活動



■ ミュージックアンサンブル VIVO(ヴィーボ)

京都府、滋賀県を中心に幅広く活動し、年間40回以上の舞台をこなす。2009年から2012年に中国西安市や桂林市などで公演。京都府知事からの親書を届けるなど、日中友好活動にも寄与。

2012年「風にのせて」、2018年「ふるさとやましな」、2019年「人生は、素晴らしい！」を制作。

2019年「やましな栄誉賞特別賞」受賞



■ X+（えくすと）

日高慎二のボーカルプロジェクト。NPO法人チャイルドライン京都のテーマソングも担当。

これまで島根県ふるさと親善大使をはじめ全国7か所のPR大使や月化粧アンバサダーなど企業のPR大使、映画「神在月のこども」公式アンバサダーなどに就任。高音のふんわりした声で癒しの歌を届けている。現在は有観客ライブとオンライン配信ライブで活躍中



■ MAKOTO（まこと）

京都市生まれ。16歳から祇園甲部の舞妓としてお店出しをし、21歳で芸妓に。その頃より趣味で歌い始めたジャズライブが噂となり、2001年にAlbum『MAKOTO』で歌手としてメジャーデビュー。数々のCDをリリースし京都府内を中心にライブ活動を行う。6年前に南丹市に移住し、日吉観光大使として田舎暮らしを発信中。広め隊の活動では京都市在住ジャズギタリスト北脇久士とDUOでJazzyなアレンジも飛び出す。